

様式第6号(第17条)

会 議 録

会議の名称		令和8年度 第1回春日部市市民活動センター運営協議会	
開催日時		令和8年7月3日(金)	開 会 午後2時
			閉 会 午後3時15分
開催場所		春日部市市民活動センター ぽぽら春日部(4階会議室1)	
議長(会長等)氏名		石塚 勝美	
出席者	委員氏名	(出席人数: 6人)	
		石塚 勝美、若原 幸範、勝谷 清一、白石 昌三、関根 信一、齋藤 修	
	説明者 その他	(出席人数: 2人)	
		市民活動センター指定管理者 株式会社 コンベンションリンケージ 市民活動センター所長 深沢 美早季、ディレクター遠藤 健、 アドバイザー 市川 潤	
事務局	事務局	(出席人数: 6人)	
		市民生活部長 篠原 直樹、市民参加推進課長 小峯 崇弘、 市民参加推進課主幹 宮田 陽介、市民参加推進課主査 大貫 礼奈、 市民参加推進課主事 篠原 遼大、市民参加推進課主事 佐野 稜馬	
次第及び公開、一部公開、非公開の区分		1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 委嘱状交付 4. 委員・事務局紹介 5. 春日部市市民活動センター運営協議会の概要について 6. 副会長の選出について 7. 議事 (1) 令和7年度事業報告及び自己評価に対する市の意見等について (2) 令和8年度実施事業に対する「ぽぽら春日部」の目的・目標について 8. 閉 会 ※(すべて公開)	
一部公開・非公開の場合はその理由		☐ 要綱第3条第1号該当: ☐ 要綱第3条第2号該当: ☐ 要綱第3条第3号該当: ☐ 要綱第3条第4号該当:	
配布資料		(資料1) 春日部市市民活動センター運営協議会の概要について (資料2) 令和7年度春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」実施事業一覧 (資料3) 令和7年度運営実績 (資料4) 令和7年度春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」	

	自己評価表 (資料5) 令和7年度「ぽぽら春日部自己評価」に対する市の意見 (資料6) 令和8年度春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」実施事業計画一覧 (机上配布) 共同事務室の有効活用について
会議録の作製方法	☐ 録音テープ等を使用した全文記録 ☒ 録音テープ等を使用した要点記録 ☐ 要点記録
会議録署名の指定	
発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
会 長	【1. 開会】
	【2. あいさつ】 《あいさつ》
	【3. 委嘱状交付】
	【4. 委員・事務局紹介】
課 長	【5. 春日部市市民活動センター運営協議会の概要について】 「春日部市市民活動センター運営協議会の概要について」事務局より説明願う。
事務局	《資料1に基づき説明》
課 長	ただいまの説明について、質問はあるか。
委 員	《質問なし》
課 長	【6. 副会長の選出について】 前副会長が辞任されたことに伴い、新たに副会長を選出していただきたい。選出にあたっては、会長に進行をお願いしたいと思うが、いかがか。
委 員	《異議なし》

会 長	それでは、副会長の選出をお願いしたい。委員の皆さまのご意見を伺う。
委 員	事務局の案があればお示し願う。
会 長	ただいま、委員より副会長の事務局案を示してほしいとの意見があったが、異議あるか。
委 員	《異議なし》
事務局	事務局では、白石委員をお願いしたいと考えている。
会 長	副会長に白石委員を選出することに異議あるか。
委 員	《異議なし》
課 長	【7. 議事】 会長においては、「春日部市市民活動センター運営協議会要綱」第5条2項の規定により、議長をお願いする。
議 長	それでは、「議事（1）令和7年度事業報告及び自己評価に対する市の意見等について」、事務局より説明を願う。
事務局	《資料2から資料5にもとづき説明》
議 長	ただいまの説明について、何か質問・意見はあるか。
委 員	資料2の「市民活動講座」のうち、「スマートフォンを使いこなそう」の満足度が62.5%となっている。他の講座と比較するとやや低い印象を受けるが、その要因をどのように分析しているのか。既にスマートフォンを使いこなしている人が多くなっており、講座の必要性が低くなっているということなのか。
委 員	高齢者世代では、スマートフォンを十分に使いこなせていない人が多い。電話やメールなどの基本機能しか利用しておらず、その他の機能を活用できていない現状があるため、このような講座は必要であると考える。 また、地域活動では、無料通話アプリを利用すれば、一斉連絡が可能であるが、アプリをインストールしていない、あるいは利用できない人もいるため、導入できない。このような現状からも

指定管理者	スマートフォンの操作を学ぶ機会は重要であると考えている。 本講座は総務省のデジタル活用支援講座を活用し、全2回で実施した。しかし、座学中心の内容であり、多くの参加者が期待していた「自分のスマートフォンについて個別に相談できる内容」ではなかったことが、満足度が低くなった要因と考えている。 また、2回目の最終回は「AIを使いこなそう」をテーマとして実施したが、参加者の期待に対し、AIを実際に活用する段階まで内容を深めることができなかった。AIの楽しさや利便性を十分に伝えられなかったことも、満足度に影響したものと考えている。 一方、埼玉県立大学のボランティアによる「スマホサロン」では、個別に丁寧な支援を行っており、こちらは高い満足度を得ている。
委 員	資料2の「活動見本市」について、私自身も団体として展示に参加した。約1週間にわたる展示期間中、多くの来場者が足を止めて見学してくださり、有意義な機会となった。 一方で、展示会場への導線には改善の余地があると感じた。例えば、1階エレベーターホールなどに案内表示を設置するなど、来場者を誘導する工夫があるとさらに効果的ではないか。
指定管理者	貴重なご意見として受け止め、今後の展示方法や周知方法の改善につなげていきたい。
委 員	資料5の「マッチングと協働支援の機能」について伺いたい。市からの意見等で「イベント開催が目的となっている」との記載があるが、その趣旨を教えてください。 また、モヤモヤカフェやフィールドリサーチについて、資料4では効果が十分に記載されていないように感じる。 モヤモヤカフェは、市民が日頃感じている課題を共有し、対話する貴重な機会となっている。また、フィールドリサーチについても、施設内で待つだけでなく、地域へ出向くアウトリーチ型の取組として非常に意義があると考えている。これらの成果についてどのように評価しているのか伺いたい。
事務局	モヤモヤカフェについては、今年度は年間6回以上開催する計画であったが、結果として年度末に開催が集中した。そのため、回数をこなすこと自体が目的化してしまった面もあったのではないかと考えている。 目標回数を達成することは重要であるが、開催時期や内容につ

	いて十分な検討ができなかった点を踏まえ、その反省として「イベント開催が目的となっている」と記載したものである。 また、市民協働は地域課題の解決を目的とするものであり、イベント開催はそのための手段である。イベント開催の先にどのような成果や地域課題の解決につながったのかを示す必要があると考えている。 フィールドリサーチの成果に対する評価を含め、市からの意見等については、再度修正する。 〔資料4・5について、別紙のとおり修正〕
議 長	資料2の「利用者アンケート」について、事業満足度については未記入回答があるとの記載がある。なぜ、事業満足度の項目を記入しない人が多いのか。
指定管理者	アンケート対象者には交流ミーティングスペースのみを利用している学生も多く含まれている。そのため、事業に参加したことがない利用者が多く、事業満足度の設問は未回答となるケースが多かった。
委 員	昨年度、公民館を活用して実施したユースセンター事業について、実施状況を伺いたい。
指定管理者	本事業は指定管理業務とは別に実施したものである。コンベンションリンケージが春日部市こども育成課と共同で実施した事業である。 参考として申し上げますと、結果として中学生の利用が中心となった。大学生スタッフと卓球などを通じて交流する様子が見られ、保護者からは安心して過ごせる居場所として高い評価をいただいた。 一方で、中学生の利用が活発であったため、高校生の利用はやや少なくなる傾向が見られた。試行事業として実施したこともあり、多くの課題と成果が得られた。
議 長	資料2の「協働を促す企画」における子どもフェスタ2025の「忍者修行」とはどのような内容であったのか。
指定管理者	子どもたちが忍者姿となり、各ポイントでワークショップやゲーム形式の「修行」に挑戦するイベントである。最後まで修行を終えると修了証が渡される仕組みとなっており、大変好評であった。

委 員	春日部藤まつりで施設の認知度調査を実施していたが、認知度は年々向上しているのか。
指定管理者	「活樹ふれあいキューブ マツナガ」という建物自体の認知度は高いが、その中にある「ぽぽら春日部」まで認知している人はそれほど多くない。 今後も SNS や他施設との連携などを通じて認知度向上を図るとともに、若い世代にも来館してもらえるよう取り組んでいきたい。
委 員	資料2の「相談事業」について、課題として「市民活動団体として認めてよい活動かどうかの判断に迷うケースがある」とあるが、どのようなケースを指すのか。
指定管理者	表向きは読書会や勉強会として活動しているものの、調査すると特定の宗教団体や営利活動との関係が疑われるケースがある。公共施設を利用する団体の中には、表面的には市民活動団体として登録していても、実際には勧誘活動などを目的としている場合もあり、判断が非常に難しい。 対策として、団体登録時には、「特定の宗教活動・政治活動・営利活動を目的としない」旨の誓約書を提出していただき、その後も活動状況を継続的に確認している。
議 長	次に、「議事(2)令和8年度実施事業に対する「ぽぽら春日部」の目的・目標について」、事務局より説明を願う。
事務局	《資料6にもとづき説明》
議 長	ただいまの説明について、何か質問・意見はあるか。
委 員	モヤモヤカフェについて伺いたい。7月に実施するものは対象が20～30代となっているが、その理由を教えてください。
指定管理者	モヤモヤカフェは本来、この年代だけをターゲットにしているわけではない。しかし、労働世代の若い方々の参加が少ないという現状があるため、「アンダー30」として募集している。ただし、30歳を超えていても参加可能であり、年齢はあくまでも目安としている。 特に、仕事帰りの方や、春日部に住んでいるものの大学は市外

	に通っている方、仕事で東京へ通勤している方などが、地元についてどのように考えているのかを話し合う場、居場所づくりの場として実施している。
委 員	資料6の「フィールドリサーチ」について伺いたい。「ヒアリング内容をレポートとしてホームページに掲載」とあるが、どのようなかたちでヒアリングしているのか。
指定管理者	今年度は、前半にスタッフ間でフィールドリサーチの対象となる団体を検討し、後半から実際に現地を訪問する計画としていた。しかし、ご縁があり、前半の段階で既に2団体への取材を実施しており、その内容はホームページにも掲載している。
委 員	共同事務室の資料にある「イベント利用」について伺いたい。月間イベントは参加費無料という理解でよいか。
指定管理者	共同事務室はもともと無料で利用できるスペースであるため、その場所で参加費を徴収すると運用上の整理が難しくなる。そのため、共同事務室で実施するイベントについては、参加費無料のものに限定する考えである。
委 員	共同事務室の資料にある「ぽぽらメンバーズ」について、「市民活動を始めようとする意思のある個人」とあるが、団体には所属しているものの団体登録はしておらず、個人として参加したい場合も対象となるのか。
指定管理者	市民活動を始めようとする意思のある方はもちろん、すでに活動している方も対象となる。
委 員	「ぽぽらメンバーズ」については、1年ごとに活動報告書を提出することになっているが、人によっては少しハードルが高く感じるのではないかと思う。どの程度の内容を想定しているのか。
指定管理者	市民活動を始めようとする意思のある方が、この1年間でどのような活動を行ったのかを報告していただくことを想定している。 この条件を設けた理由は、学生や社会人が単なる学習や仕事のためのスペースとして利用することを防ぐためである。「ぽぽらメンバーズ」に入会された方には、市民活動に向けた取組を1年間行っていただくことを前提としている。誰でも自由に利用できる

委 員 指定管理者 議 長 委 員 議 長 事務局	形にすると、学習や仕事を目的とした利用が中心となる可能性があるため、その抑止策として設けている。 ロッカーはどのように取り扱う予定か。 現時点では、現状のまま継続する予定である。ロッカーは現在も多くの団体に利用されており、利便性も高いことから、今後も継続して設置したいと考えている。 また、今後はモヤモヤタイムなどでも共同事務室を活用する予定であり、こうした取組を通じて共同事務室の認知度を徐々に高めていきたいと考えている。 何か他に質問や意見はあるか。 《質問・意見なし》 以上をもって、議事を終了する。これをもって議長の職を解かせてもらい、以後の進行を事務局へお渡しする。 次回協議会については、会議の日時決定次第、通知する。 【 8 . 閉 会 】
議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和8年7月27日 署名者の職・氏名 会 長 石塚 勝美（原本は自著）	